

昭和 6 2 年 9 月招集

第 3 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

○第1号（9月10日）

開 会	8
議長の報告	9
議案の配付	9
会議録署名議員の指名	9
会期の決定	9
会議日程の決定	9
議案第28号～議案第31号、認定第1号～認定第7号 （提案理由の説明）	10
延 会	14
本日の会議に付した事件	15

○第2号（9月16日）

開 議	20
行政一般通告質問	20
脇田 安保君の質問、当局の応答	20
辻田 実君の質問、当局の応答	35
永井 龍平君の質問、当局の応答	52
流山源次郎君の質問、当局の応答	66
田沢 勝信君の質問、当局の応答	82
神田 守隆君の質問、当局の応答	98
散 会	106
本日の会議に付した事件	106

○第3号（9月17日）

開 議	110
議案第28号	110
委員会付託	110
議案第29号～議案第31号	110

神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 1 1
日下 君敏君の質疑、当局の応答	1 1 9
委員会付託	1 2 6
延 会	1 2 6
本日の会議に付した事件	1 2 7

○第4号（9月18日）

開 議	1 3 2
認定第1号～認定第7号	1 3 2
辻田 実君の質疑、当局の応答	1 3 2
脇田 安保君の質疑、当局の応答	1 5 2
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 5 8
山中金治郎君の質疑、当局の応答	1 6 9
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	1 7 2
延 会	1 7 2
本日の会議に付した事件	1 7 3

○第5号（9月28日）

開 議	1 7 8
議案の配付	1 7 9
議案第28号、議案第29号	1 7 9
総務委員会委員長報告	1 7 9
辻田 実君の討論	1 8 1
採決	1 8 5
議案第30号、議案第31号	1 8 6
文教民生委員会委員長報告	1 8 6
採決	1 8 7
議長の報告	1 8 8
認定第1号～認定第7号	1 8 8
決算審査特別委員会委員長報告	1 8 8
神田 守隆君の討論	1 9 4

採決	196
議案第32号	197
説明	197
委員会付託の省略	198
採決	198
議案第33号	199
説明	199
委員会付託の省略	199
採決	200
議案第34号	200
説明	200
委員会付託の省略	201
採決	201
閉 会	201
本日の会議に付した事件	202

第 3 回館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和62年9月10日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1番 脇田 安保
3番 田沢 勝信
5番 岩村 勝弘
7番 生稻 陸
9番 山口 康雄
11番 神田 守隆
13番 山中金治郎
15番 横溝 功
17番 石井 謀
19番 川名 正二
21番 辻田 実
23番 流山源次郎
27番 林 豊

1 欠席議員 2名

24番 松下 正己

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 飯野 芳郎
経済部長 安西 良一
教育委員会会長 正木 高朗
選挙管理委員会会長 加藤 利
監査委員 鈴木 重司
農業委員会会長 斎藤 明

1 出席事務局職員

事務局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲
書記 加藤 浩一

2番 永井 龍平
4番 庄司二三男
6番 山崎 雅己
8番 鈴木 勝美
10番 鈴木 忠夫
12番 榎本 春光
14番 小宮 利夫
16番 石井 昌治
18番 日下 君敏
20番 福原 勤
22番 黒川 平治
25番 渡辺 昭夫
28番 飯田 義男

26番 近藤 好雄

助役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂
民生部長 渡辺 弘
水道課長 石井 敏夫
教育委員会会長 福原 修
選挙管理委員会書記長 佐藤 輝雄
監査事務局長 橋本 巖利
農業委員会会長 池田 六郎

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

1 議事日程（第1号）

昭和62年9月10日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

日程第4 { 議案第28号 損害賠償の額の決定及び和解について
議案第29号 昭和62年度館山市一般会計補正予算（第2号）
議案第30号 昭和62年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第31号 昭和62年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）
認定第1号 昭和61年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号 昭和61年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号 昭和61年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号 昭和61年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号 昭和61年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号 昭和61年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
認定第7号 昭和61年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前10時02分

○議長（飯田義男君） 本日の出席議員数26名、これより昭和62年第3回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（飯田義男君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から6月乃至8月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（飯田義男君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（飯田義男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

4番議員庄司二三男君、23番議員流山源次郎君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（飯田義男君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月10日から9月28日までの19日間ということであります。

お諮りいたします。会期を19日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月10日から9月28日までの19日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（飯田義男君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（飯田義男君） 日程第4、議案第28号乃至議案第31号並びに認定第1号乃至認定第7号を一括して議題といたします。

提案理由の説明

○議長（飯田義男君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には、御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、一般議案1件、補正予算3件並びに認定7件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第28号損害賠償の額の決定及び和解についてでございます。昭和61年10月17日、館山市上真倉の館山市環境施設センター真倉側搬入路出口T字路におきまして、公務中の市有自動車の衝突により損害を与えた事故に係る損害賠償について協議が整いましたので、これが額の決定及び和解につきまして議会の議決を求めようとするもの

でございます。

次に、議案第29号昭和62年度館山市一般会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ2億4420万2000円を追加し、総額98億4156万1000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、総務費では、市庁舎本館及び新館浄化槽の老朽化に伴う改修工事請負費で100万円、安房郡市広域市町村圏事務組合負担金で142万8000円、これは、リゾート整備計画基礎調査に係る人件費及び調査費の増並びに火葬場費の人件費の減によるものでございます。また、市税の過年度課税分更正による税収入還付金及び還付加算金で390万円、民生費では、ゼロ歳児等の保育児童数の増に伴う保母等臨時職員賃金で691万8000円、衛生費では、金属類の危険物分別作業等に係る臨時職員賃金で209万3000円、農林水産業費では、館山市農業協同組合が実施する共同計算用コンピュータ導入のため野菜産地総合整備対策事業補助金で2615万円、県単漁業構造改善事業補助金で208万円の減、漁船巻揚機設置事業補助金で201万円の増、これらは事業費及び事業量の変更に伴うものでございます。また、水産資源の確保のため自然石による築磯事業の補助金で90万円、商工費では、海洋性リゾートタウン基本構想関連調査委託料で500万円、これは、当初予定しておりました調査委託内容の変更を行うことによるものでございます。土木費では、市道1031号線外1路線の物件調査委託料等で210万6000円、都市計画街路八幡高井線の国庫補助対象事業費の増によりまして、用地購入費、地上物件補償費等関連経費で6086万6000円、教育費では、幼稚園の産休、病休等に伴う代替職員の増によりまして、産休・病休補助員賃金で237万円、クリーンアンドビューティフル運動の一環といたしまして、花いっぱい運動花卉植栽及び花壇造成工事等の経費で117万円、公債費では、地方債の繰上償還に伴う償還元金で1億2611万2000円、以上歳出の主なものにつきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、国県支出金及び地方債等特定財源8808万3000円、市税及び前年度繰越金等の一般財源1億5611万9000円をもって

充当しようとするものでございます。また、今回、国の地方財政対策の補正に基づきまして、売上譲与税及び利子割交付金を減額し、市税により補てんすることといたしました。

なお、このほかに、地方債補正といたしまして、都市計画街路八幡高井線に係る事業費の増額に伴い、道路整備事業債の変更をお願いするものでございます。

次に、議案第30号昭和62年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出それぞれ131万3000円を追加し、総額28億7380万4000円としようとするものでございます。これは、医療費適正化対策事業といたしまして、健康づくり等各種講演会の開催、保健推進員による啓もう活動等事業費の増によるものでございますが、この財源につきましては、全額国庫支出金をもって充当するものでございます。

次に、議案第31号昭和62年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出それぞれ4430万7000円を減額し、総額27億8244万1000円としようとするものでございます。これは、前年度において、支払基金、国及び県並びに一般会計からの交付金及び負担金等により事業を実施し、本年度において医療費等をそれぞれ精算することに伴い、医療費県負担金返還金で143万7000円を追加し、一般会計繰出金では4574万4000円を減額するものでございます。

次に、認定第1号乃至第7号の諸案件は、いずれも昭和61年度館山市一般会計ほか6特別会計の歳入歳出決算の認定につきまして、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して、市議会の認定をお願いするものでございます。

昭和61年度の我が国経済は、個人消費、住宅投資等を中心に国内需要は緩やかに増加した一方、円高の進展等によりまして輸出が弱含みであることなどから、全体として景気は、底固さはあるものの、その足取りは緩やかなものとなりました。しかし、大幅な貿易黒字など対外不均衡が依然として続き、この是正や開発途上国への協力などが求められていることから、協調ある対外経済関係の形成及び内需を中心とした景気

の着実な拡大を図るため、民間活力が最大限発揮されるような環境整備の推進を柱とする総合経済対策が実施されたところでございます。

地方財政におきましても、税収の伸び悩みや国庫補助負担率引き下げが進むなど、財源確保が年々難しくなる中で、地域経済の安定的な発展のために、地方単独事業の拡大等が要請され、このため財政資金の効率的な運用と経費全般につきまして徹底した節減合理化を図り、節度ある行財政運営を行ってきたところでございます。しかし、事業拡大に伴う財源を地方債に依存せざるを得ないことから、現在でも多額の地方債及び借入金等残高を抱えており、依然として厳しい状況が続いております。

本市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政環境の中で、既存の事務事業の簡素化、合理化等の行財政改革を進めるとともに、税収入の確保、地方債の繰上償還等、健全財政を基本に堅実な行財政運営に意を用いてまいりました。また、予算の執行に当たりましては、総合計画に基づき、市の目指すべき将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、優先度の検討、真に必要な施策の選択など、財政の質的充実に配慮しつつ、地域の振興、福祉及び教育文化の向上、生活関連施設の整備充実に計画的に推進し、市民生活の安定、向上に努めてまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額101億8875万余円で対前年度比1億8486万余円の増、歳出総額97億5713万余円で対前年度比2767万余円の増になり、館山市内仏像彫刻悉皆調査報告書作製に係る事故繰越額549万円を除く実質収支は4億2613万余円となっております。

また、特別会計におきましては、運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計及び老人保健会計におきましては、医療費は増嵩傾向にあったものの、決算額におきましては、それぞれ前年度の伸びを下回るものとなりました。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計1億3824万余円、老人保健会計291万余円となっております。

水道事業会計におきましては、夏期における安定給水を確保するため、作名浄水場配水池増設工事を施工いたしましたほか、波左間浄水場流量計取替工事を行い、既存施設の整備拡充に努めました。収益的収支につ

きましては、2382万余円の純利益を生じましたが、一部を前年度繰越欠損金の処理に充て、2001万余円を剰余金として翌年度に繰り越すことといたしました。資本的収支につきましては、8127万余円の不足が生じ、減債積立金及び過年度分損益勘定留保資金で補てんすることといたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、経営の安定を図るため利用者増大に向け一層の諸サービスに努めてまいりました。特に、昭和61年10月より実施いたしました新しい客層の開拓とシーズンオフ対策及び館山市老人福祉施策の一環といたしましての利用料金割引事業等により、宿舎利用者数は前年度に比べ4.1%の増となりました。収益的収支につきましては63.1万円の純損失となっております。

以上、昭和61年度の決算につきましてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては、「決算に係る主要な施策の成果に関する報告」及び「歳入歳出決算事項別明細書」等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について、館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について及び館山市教育委員会委員の任命について議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。ありがとうございました。

○議長（飯田義男君） 以上で提案理由の説明は終わりました。

延 会 午前10時17分

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明9月11日から15日まで議案調査のため休会、次会は9月

16日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。一般議案、補正予算についての質疑通告の締め切りは、9月16日正午でありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第28号乃至議案第31号、認定第1号乃至認定第7号